

水門メーカーの考えた 防水扉です!!

特許申請出願中
(特願2007-199130)

近年、ゲリラ豪雨や台風時における高潮などにより各地で浸水被害が多発しています。特に低地や地下空間の出入り口では、不意な浸水が多く、大きな被害が発生しています。大和鉄工所の防水扉は、長年の水門技術で培ったノウハウを活かした、不意な増水にも確実に対応が可能な製品です。

水門メーカーならではのノウハウを活かした

安心の5つの特徴

浸水を検知し窒素ガスの圧力で扉を自動で動作させます。

扉は極短時間で起立し、長時間にわたり固定され保持しますので不意な増水に安全・確実に対処できます。また、扉表面には段差が無く車輦、人の通行が可能です。



特徴
1

外部動力 不要

無公害で小型の窒素ガスポンプ(内蔵)を使用しているため、電力、人力がなくても確実に作動します。

特徴
2

水漏れが 少ない

長年の水門で培ったノウハウを活かして開発していますので、確実に水の浸入を防ぎます。
※他社製品比1/10以下(当社調べ)

特徴
3

人による操作が 不要

水の浸入を検知するとブザー音とフライトで通行者に注意を促しながら自動で作動します。また、手動で操作することも出来ます。

特徴
4

簡単設置

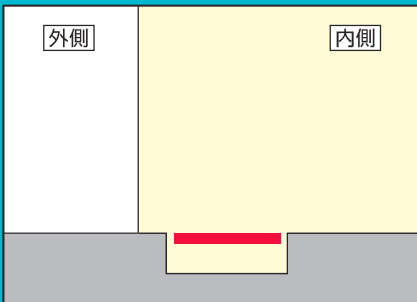
多様な間口間隔にも対応可能です。製作は扉全体を工場でユニット化し出荷しますので据付けが容易です。

特徴
5

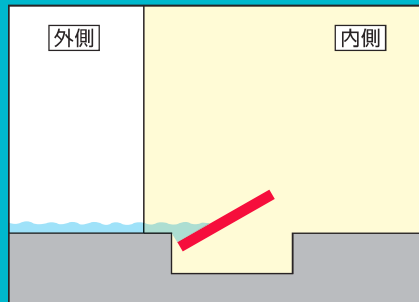
動作が早い

浸水を検知してから扉の起立までの動作が早いので、確実に水の浸入を防ぎます。

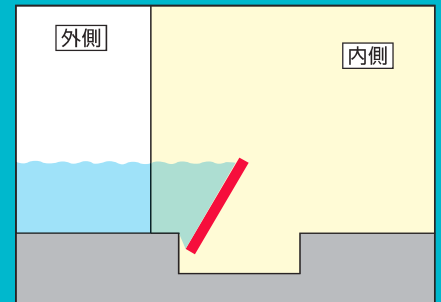
■作動図



通常、防水扉は倒れており、床面への突起物はありません。



豪雨等により水位が上昇し、設定水位に達すると防水扉が自動起立し始めます。



防水扉が全起立すると水を遮断します。

DAIWA IRONWORKS WATERTIGHT DOOR

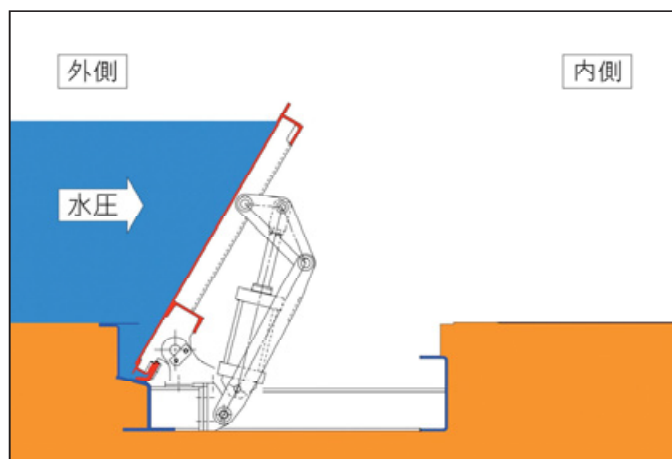
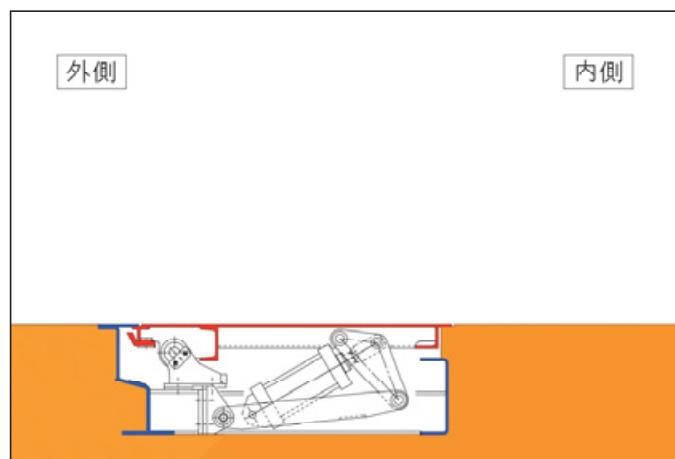


大切な住まいや地下施設を浸水から守ります。

■仕様

防水扉本体			
止水高(H) ※1	0.6m~1.0m	想定車両荷重	T-2(標準品), T-3~T-6迄オプション
有効幅(W) ※1	3.0m~7.0m	主要材料	扉体: SS400 ステンレス製はオプション
動力源	窒素ガス		戸当り: SS400, 側面 SUS304 ステンレス製はオプション
操作方式	自動起立操作及び手動操作		水密ゴム: CR (クロロプレンゴム)
起立方式	エアシリンダによる背面押上		
起立時間	30 ~ 60 秒	塗装仕様	扉体鋼製部: タールエポキシ樹脂塗装
止水方式	前面3方ゴム水密		戸当り鋼製部: タールエポキシ樹脂塗装
漏水量	2.5ℓ / h / m ² (社内測定値)		

※1 標準品(W×H)は、(6.0×0.6)、(6.0×1.0)、(7.0×0.6)とし、以外についてはオプションとなります。



■お問い合わせ先

 株式会社 大和鉄工所(営業部)

〒704-8193 岡山市東区金岡西町1108-2

TEL 086-948-3777(代) FAX 086-948-3789

URL <http://www.daiwa-teko.co.jp>

mail info@daiwa-teko.co.jp